

2020 年度

環境経営レポート

—2020 年 4 月～2021 年 3 月—



中川運輸株式会社

発行 2021 年 6 月 30 日

I 登録事業所の登録範囲

1. 事業所名及び代表者名

中川運輸株式会社

代表取締役 吉富 秀介

2. 所在地（認証・登録の事業所）

本社：〒892-0823 鹿児島市住吉町 13 番 3 号

新港事務所：鹿児島市城南町 45-1 番地

志布志営業所：志布志市志布志町志布志 3292 番地

南埠頭事務所：鹿児島市本港新町 6 番地

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：稲森 健一 環境事務局：祝井 正裕

連絡先：TEL（代）099-226-5111 FAX：099-226-5117

E-mail m-iwai@nakagawa-unyu.co.jp

4. 事業内容（認証・登録の範囲）

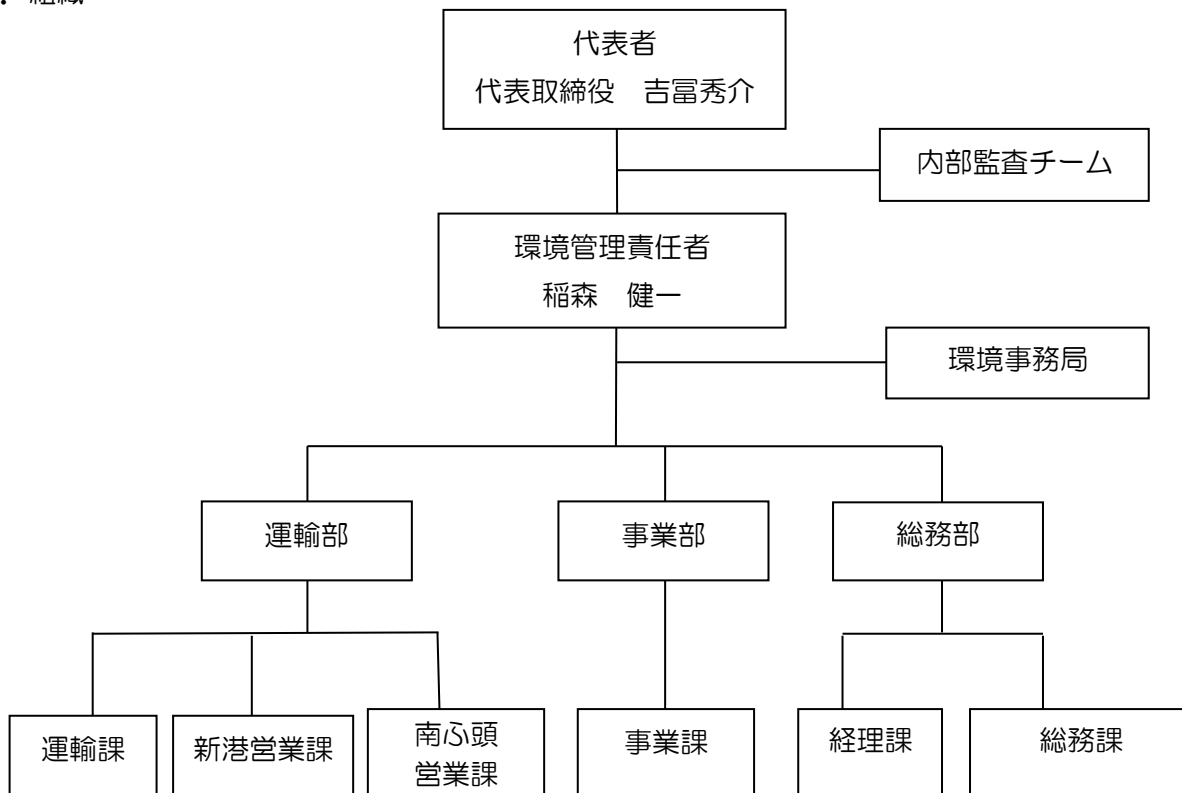
海運代理店業・港湾運送業・一般貨物自動車運送業・飲食業・清掃業・
一般及び産業廃棄物収集運搬業

5. 法人設立 昭和 19 年 10 月 19 日

6. 事業規模 資本金 50 百万円 従業員 127 名

売上高 2,930 百万円 2020 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月）

7. 組織



8. 事業許可の内容

(1) 港湾荷役事業免許状 九運航 番号 1578 号

(2) 一般区域貨物自動車運送事業免許状 福陸自第 3180 号

(3) 一般廃棄物処理業許可証 (鹿児島市) 許可番号 215 号

許可年月日: 令和 2 年 5 月 7 日 有効期限: 令和 4 年 5 月 6 日

(4) 産業廃棄物収集運搬業許可証(鹿児島県)許可番号 04603076616 号

許可年月日: 令和 3 年 5 月 10 日 有効期限: 令和 8 年 5 月 9 日

【産業廃棄物収集運搬事業の範囲】

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、汚泥、廃酸、
廃アルカリ、紙くず、木くず、動植物性残さ 以上 9 種類の収集及び運搬

(積替え又は保管を除く)

(5) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 04651076616 号

許可年月日: 令和元年 12 月 2 日 有効期限: 令和 6 年 12 月 1 日

【事業の範囲】

廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類)、廃酸 (水素イオン濃度指数 2.0 以下のもの)

感染性産業廃棄物

9. 施設の状況

・廃棄物収集運搬台数: 2 台 (パッカー車 3 t × 1 台・ダンプ車 2 t × 1 台)

10. 年間処理実績 (2020 年 4 月~2021 年 3 月)

・一般廃棄物収集/運搬量 94.0 t / 年 ・産業廃棄物の収集運搬量 29.8 t / 年

・特別管理産業廃棄物収集運搬業/運搬量実績 0.0 t / 年

中川運輸株式会社
環境経営方針

当社は、港湾運送業者として、本土と南西諸島を結ぶ高品質の貨物取扱サービスを提供するとともに、かけがえのない地球の環境を健全なまま、次の世代に引き継ぐことを企業の社会的責務と考え、環境負荷の低減を図るために、継続的環境保全活動に取り組みます。

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減（電気・自動車燃料）
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進
- ③ 水使用量の削減
- ④ 物流効率化の推進
- ⑤ 社会貢献（会社周辺の清掃活動）

2. 環境関連法規制及びその他の当社が約束したことを順守します。

3. この環境経営方針を全社員に周知するとともに社外に公表します。

制定日：2010年1月5日

改定日：2011年4月1日

改定日：2020年4月1日

代表取締役 **吉富 秀介**

II 主な環境負荷の実績

2017年度から2020年度の主な環境負荷の実績は、次の通りです。

項目		単位	2017年度 2017/4~2018/3	2018年度 2018/4~2019/3	2019年度 2019/4~2020/3	2020年度 2020/4~2021/3
二酸化炭素 排出量	電力	kWh	187,369	198,953	175,721	193,218
		kg-CO ₂	35,371	69,037	60,975	67,047
	燃料	ℓ	271,312	262,803	257,678	253,534
		kg-CO ₂	700,046	678,101	662,673	654,801
廃棄物 排出量	一般	t	5.33	5.09	6.39	6.77
	産業	t	28.80	30.29	67.20	64.0
水使用量（排水量）		m ³	810	1,198	1,113	1,052

※二酸化炭素の電力係数：九州電力 2018年度調整後排出係数 0.347kg-CO₂/kWh で算出

III 2020年度環境目標とその実績

2020年度（2020年4月～2021年3月）の目標及び実績についての評価を行いました。

当社の業務が、湾岸荷役作業及び一般運送業が主であり、二酸化炭素排出量のほとんどが軽油使用によるものである。そのため車両等の運転・作業の効率化を図ることが大きな成果につながります。

＜2020年度 実績＞

項目	単位	2017～2019年度 2017/4～2019/3	2020年度 2020/4～2021/3		評価	
		基準年度3年平均	目標	実績		
電力の削減	kWh	184,685	182,838	193,218	未達	
	kg-CO ₂	64,086	63,445 -1%	67,047 +5.7%		
燃料の削減	ℓ	262,869	260,240	253,534	達成	
	kg-CO ₂	678,468	664,899 -1%	654,801 -3%		
廃棄物の削減	一般	t	5.95	5.89 -1%	6.77 +14%	未達
	産業	t	58.93	58.34 -1%	64.00 +9%	未達
水道使用量の削減		m ³	946	936 -1%	1,052 +11%	未達
物流効率化の推進		回	—	12	12	達成
地域社会奉仕	道路・溝 の清掃	件	4	4	コロナ過予防 で実施せず	未達

※二酸化炭素の電力係数：九州電力 2018年度調整後排出係数 0.347kg-CO₂/kWh で算出

IV 2020 年度環境活動の主な継続的实施内容

1. 二酸化炭素の排出量削減

(1) 電力の削減 1%削減

- ①空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）
- ②未使用の電灯・電気製品の電源 Off
- ③クールビズの実施（実施期間の案内掲示・周知）

(2) 自動車燃料の削減（燃費の向上）

- ①無用なアイドリングストップを励行
- ②エコドライブの周知
車間距離を守り、急発進・急ブレーキの禁止
法定速度の厳守 過積載禁止
新規目的地については、事前現場・ルートを確認する
エコドライブへの認識を上げるために社用車へのステッカー貼付け
- ③外部主催の省燃費安全運転研修会への積極的参加
- ④社用車 1 台（ガソリン車）を燃料電池自動車に代替する事で、二酸化炭素の排出量を軽減した、＜代替後 386ℓ 896 kg-CO₂ 2,287 kg-CO₂軽減＞

(3) 廃棄物排出量を 1%削減

- ①一般廃棄物では、コピー用紙の裏面使用の実施・ミスコピーの防止に努めています。
使用済封筒の再利用で紙資源の節約を図っています。
- ② 廃棄物の分別を徹底して行っています。（廃棄物とリサイクルをしっかりと分別）

(4) 水の使用量を 1%削減

- ①水使用箇所に節水の表示により、周知しています。
- ②洗車時は、バケツ等を利用して無駄な水を出さないようにしています。
備え付けのホースには、散水ノズルを設置して使用しています。

4. 物流効率化の推進

デジタルタコメータの機能を活用し、各車両データの掲示（見える化で周知）し、物流効率化を推進。毎月データによる効率運転や安全運転を評価し、ドライバーの意識向上を図り、経営体質向上につながっています。

5. 地域社会への貢献

今年度は、本社・新港事務所内の清掃は毎日実施したが、周辺道路や溝の清掃等については、コロナによる感染予防のために見送りし、本社・新港事務所内の換気・清掃を徹底した。

6. 目標に対する実績状況

各サイトにおいての実績と評価を下記に記載いたしました。尚全社実績は前項に記載しました。

＜○達成 ×未達 -対象外＞

	電力	燃料	一般 廃棄物	産業 廃棄物	水	物流の 効率化	地域社 会奉仕
本社	×	○	○	—	○	—	×
新港事務所	×	○	○	×	○	○	○
志布志営業所	○	×	○	—	×	—	—
南埠頭事務所	—	×	○	—	—	—	—

V 環境活動への取り組み結果の評価と次年度への取り組み

1. 達成状況

2020年度は、全社総合で電力・廃棄物・水の削減、ボランティア清掃において未達となりました。その他環境目標では、達成することができました。

2. 評価と課題及び2021年度の取り組み

(1) 前年未達に終わった電力の削減については、今年度も未達となりました。新型コロナウイルス感染予防対策の為、窓による常時換気を行っているため、空調電力使用量が増えた事が要因です。未達部門への削減計画等を引き続き実施いたします。

(2) 廃棄物の削減未達については、新社屋建築のため、仮事務所への引越等の際に不用品の処分が重なったため、廃棄物の削減が難しい状況でした。

2021年11月末から12月始めには、引越を予定しています。

今後は計画的・定期的な不用品の廃棄に努め、3Rの強化周知を目指します。

(3) 燃料に対しては、全社での目標は、達成しましたが、部門別におきましては、数値を下げるのが難しい部門がある状況です。車両台数の増減・使用頻度の増加があった為に、その拠点の削減が、未達となりました。

(4) 2021年度も、基準値を2017年から2019年の3年平均値とし3ヶ年計画の2年目として削減につとめます。

(5) 前年度未達に終わった未達成のサイトへの継続的是正を強化いたします。

(6) 「グリーンオフィスかごしま」(環境管理事務所)の更新を申請。令和4年1月21日更新日

(7) エコ対象機器の取替等が発生した場合は、エコ機器への買い替えを行います。

(8) 本社と新港事務所における機密書類の廃棄方法については、今年度も継続して行い焼却時のCO₂排出量との比較のデータ管理し、CO₂排出量削減につとめます。

(9) 外部活動への積極的参加

年一回鹿児島トラック協会主催による「エコドライブコンテスト参加」優勝を目指します。

(10) 紙ベースでの内部情報の運用等を電子化(ペーパーレス化)導入

令和3年7月から新システムの導入・運用により社内文書の電子化(閲覧・決裁)する事で紙消費量の軽減をめざします。

VI 2021年度より2ヶ年目標

項目		単位	3年平均値 2017~19年度	2021年度 2021/4~2022/3	2022年度 2022/4~2023/3
			基準年度	目標 -2%	目標 -3%
電力の削減	kWh		184,685	180,991	179,144
	kg-CO ₂		64,086	62,804	62,163
燃料の削減	ℓ		262,869	257,611	254,983
	kg-CO ₂		678,468	664,899	658,114
廃棄物の削減	一般	t	5.95	5.83	5.77
	産業	t	58.93	57.75	57.16
水道使用量の削減		m ³	946	927	908
物流効率化の推進		件	—	12	12
地域社会 貢献	道路・溝の 清掃活動	件	4 3ヶ月毎	4 3ヶ月毎	4 3ヶ月毎

※二酸化炭素の電力係数：九州電力 2018 年度調整後排出係数 0.347kg-CO₂/kWh で算出

VII 代表者による全体の評価

運輸会社として燃料の削減目標が達成できたことは良かったと思います。燃料電池自動車導入によるCO₂排出量の減少効果は、-2,287 kg-CO₂でした。一方で事務所移転による廃棄物の増加や換気励行及び熱中症対策としての空調機器の利用時間増による電力利用の増加は避けられないことは残念です。

12月から新本社での新しい機器の稼働により、従前のオフィス環境での電気使用量の減少が期待されており、適切な仕様により環境負荷を減らします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が2年に亘り、アフターコロナを見据えた経営が見込まれます。そのようななか、令和3年7月より新システム導入による社内文書の電子化（ペーパーレス化）、三密を避けるweb会議開催による移動機会の減少などが実現し、環境保全についても寄与することができました。

今後も、環境管理事務所や各サイト担当者との連携を促し、PDCAサイクルの運用を通じて内部監査の充実を図ってまいります。環境方針の改定は行いませんが、環境目標に関し設定の見直し、更にはシステム定着化を図ってまいります。

「エコアクション21」取得から10年が経過しましたが、次の世代に今私たちが生きている地球の環境を残していくという、変わらぬ社会的責任をはたすために引き続き取り組んで参ります。

Ⅷ 環境関連法規規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

1. 法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

法規名	該当する項目	適用される施設	本社	新港事務所	志布志営業所	南埠頭事務所
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の収集運搬と適切な処分、適切な届出・管理（許可・委託契約・マニフェスト・実績報告・表示等）	一般・産業廃棄物(置場)	○	○	○	○
家電リサイクル法	エアコン・テレビ・冷蔵庫等の廃棄時の適正処理とリサイクル料金支払い	エアコン・テレビ・冷蔵庫	○	○	○	○
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料金支払い	自動車	○	○	○	○
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理回収・破壊の工程確認 3ヶ月毎の定期点検及び記録	業務用空調機	○	○	○	—

2. 環境関連法規規制等の順守状況を定期評価した結果、環境法規規制等の逸脱はありません。

また、エコアクション21導入（2010年1月）以来法的違反や行政からの指導、地域住民からの訴訟・苦情はありません。（2021年6月30日現在）



教育・訓練
「フォークリフトから油漏れ想定
処理対応訓練」

日時：令和3年2月1日（月）
17:30～17:50

場所：新港上屋内において
教育訓練者：樋渡康則

参加者：港湾荷役作業員 25名

